



2018年10月24日

## 第四銀行・中国銀行との新たな窓口受付システムの共同開発に関する合意について

### ～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年7月19日（木）、「TSUBASAアライアンス」※で連携する第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 宮長 雅人）と、新たな窓口受付システムの共同開発を行うことに合意しました。

3行は、店頭サービスの顧客利便性向上と窓口受付業務の効率化を目的として、このほど日本ユニシス株式会社（代表取締役社長 平岡 昭良）が提供する営業店窓口業務支援システム「Smile Branch（スマイル ブランチ）」をベースとした新しい窓口受付システム「TSUBASA Smile（ツバサ スマイル）」の構築を目指してまいります。

「TSUBASA Smile」では、新規口座の開設、クレジットカードのお申込み、住所・名義変更などを窓口を設置したタブレット端末で受け付け、お客さまの申込書の記入負担を軽減するとともに、入力内容を他の業務システムと連動させることで行員の業務量を削減し、1件あたりの処理時間の短縮を図ります。

3行はこれまでに基幹系システムを共同化しており、今回も共同開発することで開発コストの削減を図っていきます。既に3行は事務手続きの策定やシステム構築に着手しており、2019年4月に導入する計画です。

当行は、引き続き業務プロセスの抜本的な見直しによる業務効率化を促進するとともに、お客さまとの接点拡大や商品・サービス水準の向上に努めてまいります。

※当行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上